

うつのみや



社協だより

平成25年7月1日 発行

編集発行 149号

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-shakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索

福祉協力員表彰式並びに委嘱状交付式

～ 地域住民相互の支えあい～



第1部
表彰式



第2部
委嘱状
交付式

第2部
佐野短期大学
山田昇教授による
記念講演

5月30日に宇都宮市文化会館において、福祉協力員表彰式並びに委嘱状交付式を2部構成で開催しました。第1部では、長年にわたり、福祉協力員として地域での見守りなど福祉活動にご尽力いただいた方々への表彰式を行い、第2部では、これから2年間活動していただく福祉協力員（宇都宮市内全39地区、2,320名）の方々へ、委嘱状を交付しました。

宇都宮市社会福祉協議会では、今後も福祉協力員の方々と一体となり、地区社会福祉協議会・自治会や民生委員児童委員協議会など地域の関連機関・団体等と連携を図りながら、福祉のまちづくりを進めていきます。

“うつのみや社協だより”は、「回覧」です。よろしくお願い申し上げます。

平成
24
年度

宇都宮市社会福祉協議会 事業報告

平成25年5月21日開催の理事会、5月28日開催の評議員会において、平成24年度の事業報告について承認されましたので、ご報告いたします。

1 地域福祉活動の推進

(1) 住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現

① 地区社会福祉協議会と連携による地域福祉活動の推進

- ア. 福祉協力員制度の促進
イ. ひとり暮らし高齢者ふれあい
会食事業の促進
ウ. 敬老会開催の支援
エ. 地区福祉まつり事業の促進
福祉体験などを通して、福祉
への理解を促進しました。



地区福祉まつりでの福祉体験



- オ. 男性高齢者調理講習会開催の促進
カ. ふれあい・いきいきサロン設置の促進
(19地区/47か所)
ひとり暮らし高齢者などの居
場所を確保し、地域ぐるみで見
守り・支援を行う「ふれあい・
いきいきサロン」の設置を促進
しました。
キ. 安心・安全情報キット配付事業の推進
ク. 地区社会福祉協議会への支援



ふれあい・いきいきサロン

② 市社会福祉協議会の地域福祉活動の推進

ア. ファミリーケアサービス事業の促進

日常生活を営むうえで支援が
必要な高齢者や障がい者等の世
帯（利用会員）に対し、協力会
員が有償で家事援助などのサー
ビスを提供しました。



- イ. 総合相談センター機能の強化
ウ. 福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

- エ. ふれあい訪問事業の推進
オ. 福祉車両貸出サービス事業の推進
カ. 車いす等貸出サービス事業の推進
(貸出窓口/市内10か所)

一時的に車いすなどが必要と
なった方へ、原則3カ月を限度
に貸出を行いました。



- キ. 福祉機器・介護用品展示室の開設
ク. 援護事業（行旅人への旅費貸付）
ケ. 社会福祉資金貸付事業
コ. 移送サービス事業の推進
サ. 在宅介護者のつどいの実施



(2) ボランティア活動・市民活動の推進

① ボランティアへの理解の促進

ア. ボランティア養成・ボランティア活動の推進

- ・各種相談・問合せ (延9,466件)
- ・活動調整件数 (延564件)
- ・登録数 (162団体/7,792人)
(個人117人)

- ・ボランティア体験プログラムの実施
- ・月1ボランティアSaturday (全5回/延78人)
活動への興味・きっかけづくりのための入門
講座を開催しました。



ボランティアSaturdayの様子



- ・サマーボランティアスクール(全4回/受講者延40人)

- ・災害ボランティア養成講座(全5回/受講者延69人)
- ・傾聴ボランティア養成講座(全4回/受講者延78人)

高齢者に対し、相手の話を
否定せずに受容し、心を傾け
て聴くこと目的とする傾聴ボ
ランティア養成講座を開催し
ました。



- ・災害ボランティアフォローアップ講座
(1回/受講者29人)
- ・コミュニティフレンド養成講座(1回/受講者18人)

障がい者と活動や余暇を共
にしなが、社会との関わり
を広げていくお手伝いをする
「街の中の友だち」について
学ぶ講座を開催しました。



イ. ボランティア団体への活動支援の推進

- ・活動用機材の貸出
- ・ひとり暮らし高齢者友愛訪問の実施

ウ. 福祉共育講座の充実

- ・ 出前福祉共育講座(145回/受講者延5,158人)

障がいのある方々や地域のボランティアの方々のご協力をいただき、出前福祉共育講座を実施しました。



- ・ 福祉共育サポーター養成講座(全4回/受講者延81人)

出前福祉共育講座を支援するサポーターの養成講座を開催しました。



- ・ 出前福祉共育講座連絡会の実施

エ. 善意銀行事業の促進

②災害ボランティア活動の実施

- ・ 東日本大震災避難者支援活動(全2回)

「あたたかいつながりの輪」を広げていくことができるよう、支援活動を行いました。

- ・ 宇都宮市総合防災訓練への参加
(1回/参加者18人)

災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、設置運営訓練を行いました。



「観光スポット巡り」の様子(平和観音)

(3) 地域福祉を支える基盤の整備

①関係機関・団体等との連携・協働の推進

ア. 各種行事助成

- ・ 第6回宇都宮市民福祉の祭典

イ. 各種団体に対する補助

- ウ. 各種事業に対する共催・後援



②地域福祉活動への参画促進

ア. 広報・啓発活動の強化

- ・ 広報紙(社協だより)の発行 (年4回発行)

イ. 財政基盤の強化

- ・ 社協会員の拡大(会員112,252件・会費37,289,661円)
- ・ ぎんなん基金 (受入184件・4,832,783円)

2 介護保険事業の推進

①訪問介護事業の運営

②通所介護事業の運営

③訪問入浴介護事業の運営



④居宅介護支援事業の運営

⑤障がい者福祉サービスの運営



3 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

①老人福祉センター(5施設/年間利用者延241,561人)

- ・ ことぶき会館、ふれあい荘、やすらぎ荘、すこやか荘、上河内

②地域活動支援センター(3施設)

- ・ 雀の宮作業所、若草作業所(利用登録者 33人)
- 障がい者福祉センター(利用登録者 123人)

③総合福祉センター(2施設)

- ・ 宇都宮市総合福祉センター(会議室利用者延 83,304人)
- 河内総合福祉センター(会議室利用延 10,375人・大広間利用延 28,241人)

④茂原健康交流センター(年間利用者延161,835人)



平成25年5月19日に、入場者200万人を達成した茂原健康交流センターの施設内

(2) 市からの受託事業の実施

①障がい者生活支援センター事業(2ヶ所)

- (支援対象者延 1,433人・相談件数延 3,146件)
- ・ 総合福祉センター、子ども発達センター

②地域包括支援センター事業(相談件数延 798件)

- ・ 御本丸、上河内

③日中一時支援事業(利用者延 5,601人)

- ・ あつとほ一むうだい、あつとほ一むすずめ、あつとほ一むかわち、河内地域活動支援事業所

④訪問介護員養成研修事業(修了者 38人)

⑤身体障がい者福祉バス事業

(利用団体延 186団体・利用者延 4,227人)

⑦ゆうあいひろば(利用者延 76,617人)

⑧各種奉仕員養成講座(6講座・受講者延 1,807人)

⑨要約筆記者派遣事業(派遣件数 60件・活動者延 79人)

(3) 県社協からの受託事業

①権利擁護センター「あすてらす」事業

(利用者 114人・相談件数延 1,919件)

②地域権利擁護システム整備モデル事業

③成年後見制度利用促進事業

- ・ 成年後見制度勉強会

④生活福祉資金等貸付事業

(貸付件数 177件・相談件数延 2,800件)

平成
24
年度

宇都宮市社会福祉協議会
決算報告

平成25年5月21日開催の理事会、5月28日開催の評議員会において、平成24年度の収支決算について承認されましたので、ご報告いたします。

事業別決算額(支出済額)

(1)一般会計

①法人運営	228,621,085円
②福祉活動推進事業	37,443,660円
③ボランティアセンター事業	10,826,338円
④善意銀行事業	140,000円
⑤総合相談センター事業	4,045,738円
⑥権利擁護センター事業	9,362,000円
⑦ぎんなん基金事業	156,175,529円
⑧訪問介護事業	34,828,720円
⑨通所介護事業	28,049,588円
⑩障がい者居宅・生活介護事業	12,735,539円
⑪共同募金配分金事業	40,973,425円
⑫訪問介護員養成研修事業	2,121,149円
⑬老人福祉センターの運営	202,350,000円
⑭障がい者福祉センターの運営	36,307,000円
⑮心身障がい者作業所の運営	42,584,000円
⑯障がい者生活支援センター事業	20,029,092円
⑰災害ボランティアセンター事業	400,000円
計	866,992,863円

(2)公益事業特別会計

①宇都宮市総合福祉センターの運営	70,860,981円
②河内総合福祉センターの運営	48,153,000円
③茂原健康交流センターの運営	120,322,917円
④地域包括支援センター御本丸の運営	28,834,140円
⑤上河内地域包括支援センターの運営	20,862,619円
⑥ファミリーケアサービス事業	5,391,592円
⑦身体障がい者福祉バス事業	8,948,457円
⑧居宅介護支援事業	14,758,883円
⑨日中一時支援事業	20,568,978円
⑩移送サービス事業	838,744円
⑪ゆうあいひろばの運営	20,299,000円
計	359,839,311円

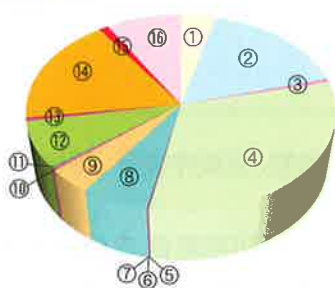
(3)その他の特別会計

①生活福祉資金貸付事業	8,944,070円
②社会福祉資金貸付事業	0円
計	8,944,070円

収支決算額

(1)一般会計

収入



980,394千円

①会費	37,290
②補助金	164,843
③寄附金	5,184
④受託金	312,138
⑤助成金	1,300
⑥負担金	388
⑦利用料	900
⑧介護保険	63,176
⑨共同募金配分金	41,173
⑩受取利息配当金	3,611
⑪雑収入	2,141
⑫経理区分間繰入金	75,993
⑬会計単位間繰入金	5,228
⑭積立預金取崩	172,563
⑮その他	10,433
⑯繰越金	84,033

支出



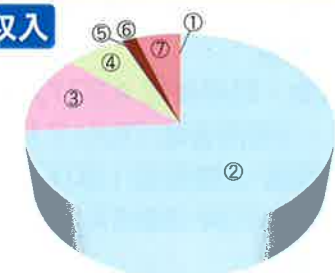
866,993千円

①人件費	305,113
②事務費	11,476
③事業費	224,004
④助成金	35,550
⑤共同募金配分金事業費	40,974
⑥負担金交付金	1,698
⑦経理区分間繰入金	75,993
⑧会計単位間繰入金	6,229
⑨固定資産取得支出及び繰入	1,085
⑩積立預金積立	147,668
⑪その他	17,203

差引残高 113,401千円

(2)公益事業特別会計

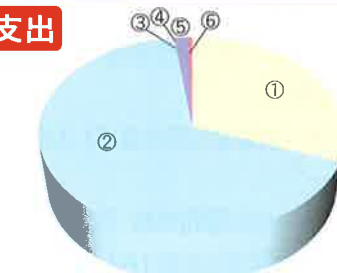
収入



386,615千円

①会費	143
②受託金	284,526
③利用料	49,312
④介護保険	26,355
⑤雑収入	542
⑥会計単位間繰入金	6,229
⑦繰越金	19,508

支出



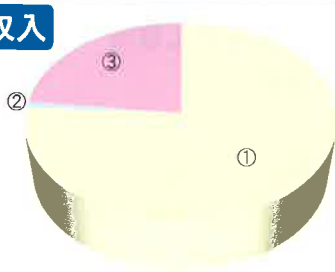
359,840千円

①人件費	110,232
②事業費	241,997
③負担金交付金	249
④返還金	134
⑤会計単位間繰入金	5,228
⑥積立預金積立	2,000

差引残高 26,775千円

(3)その他の特別会計

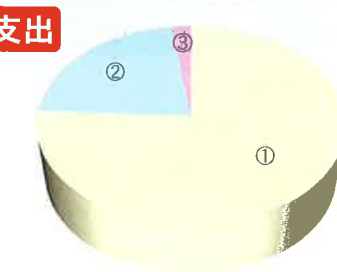
収入



11,794千円

①受託金	8,944
②貸付事業	106
③繰越金	2,744

支出



8,945千円

①人件費	6,774
②事業費	1,971
③貸付事業等	200

差引残高 2,849千円

地区社協活動紹介コーナー

各地区社協が取り組んでいる地域福祉活動(事業)について、ご紹介します。

《お問い合わせ》地域福祉課

TEL 636-1215

FAX 637-2020



国本地区 社会福祉協議会



国本地区は市の北西部に位置し、山間部や田園地帯が広がり、とても自然の豊かな地区です。また、新しい住宅地も造成されてきており、豊かな自然と“共生”できる地区でもあります。

地域の特産物である「新里ネギ」は、昔は献上ネギとして、現在は曲がりネギとして、多くの人に親しまれています。また、「道の駅ろまんちっく村」は、農産物の直売所やレストラン、さらには温泉施設やガーデンエリアが広がり、年間を通して多くの観光客で賑わっています。



～ふれあい・いきいきサロン3か所で開設～

自治会、民生委員児童委員協議会、長寿会(老人クラブ)、地域包括支援センターの方々の連携・協働により、平成24年度に新里団地の「ゴールドクラブサロン」が、平成25年度には新里三区の「ひまわりサロン」、宝木本町団地の「なごみサロン」がそれぞれ開設され、各サロンにおいて、地域の高齢者施設の訪問や、健康に関する研修を実施したりと、近隣住民相互の“自助”“共助”活動を楽しく実践しています。



～国本地区社会福祉大会～

歳末たすけあい配分事業として、毎年1回、地区社協と地区老人クラブの共催で「国本地区社会福祉大会」を開催しています。地域の高齢者が集い、お互いの出し物(舞踊・寸劇・手品・カラオケ等)を楽しみながら、参加者どうし笑顔を交わし、地域の方々が交流を深める恒例行事として、好評をいただいています。

築瀬地区 社会福祉協議会

築瀬地区は、市内の中心部、JR宇都宮駅の西側に位置し、多くの人が行き交う交通の要所となっています。多くの商店、ビルが立ち並ぶ活気ある地域で、宇都宮市中央卸売市場を要する商業の要と言える地域です。また、地域の中心を田川が流れ、活気ある街並みの中に優雅に流れる風情は安らぎを与えてくれます。

～世代を超えて、集う!学ぶ!遊ぶ!サロン“三世代・遊・学会”～

築瀬十丁目自治会では、地域の高齢者・児童と保護者が気軽に集まることのできるサロンが開かれています。高齢者が中心の「元気クラブくりのみ」、児童が中心の「寺子屋くりのみ」、そして世代を超えて交流できる「三世代・遊・学会」の三本柱で活動を展開しています。“地域のみなが家族のよう”に集まり、交流しています。

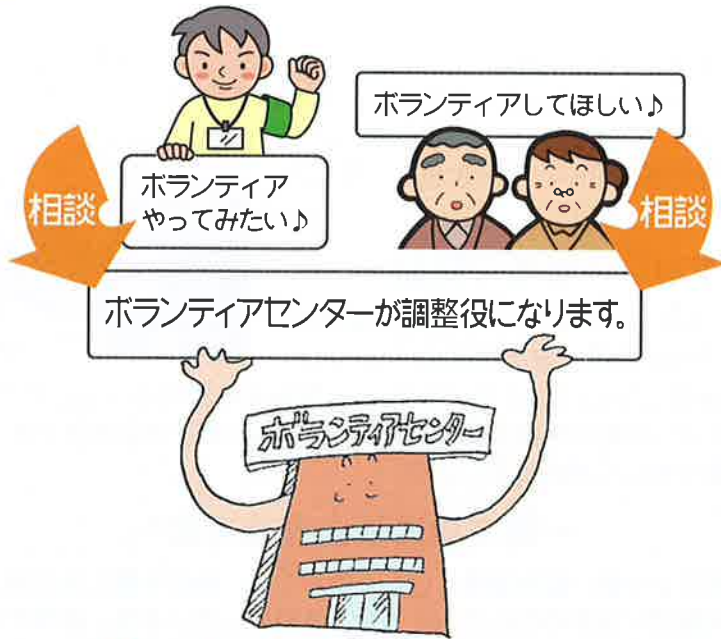


～地域みんなで作る楽しい時間「ふれあい会食会」～

築瀬地区では、毎月1回、地域にお住いのひとり暮らしの高齢者をお招きし、会食会を開いています。この会食会は、福祉協力員と地域の給食ボランティアが中心となって開催しており、毎回多くの方にご参加いただき、給食ボランティアが腕によりをかけて作る食事と仲間との交流を楽しんでいただいています。



ボランティアセンター



「ボランティアしたい方」と「ボランティアしてほしい方」の調整役になります

ボランティア登録制度（個人・団体）
希望する活動内容などの基本的な情報を登録します。希望に合った活動依頼があった際にボランティアセンターから連絡します。

ボランティアの紹介（個人・団体）
「こんなボランティアさんいないかな」そんなご希望に合ったボランティアをご紹介します。



ボランティア活動者として
白石 明さん

「ほっとすべいすコアランド」でのボランティア活動のきっかけは、宇都宮市主催の「セカンドライブ支援講座」に参加し、宇都宮市社協ボランティアセンターを案内していただき、その日に登録して今のボランティア活動を紹介していただきました。

ボランティアの活動内容は、子どもたちとの遊び相手や見守り、サポートです。参加当初は戸惑いもあり見守りが中心でしたが、徐々に一緒に遊ぶようになり、慣れてくるに従い子どもたちから挨拶もあり充実した時間を過ごしています。

還暦を迎えた年代なので子どもたちから見たらおじいちゃんですが、今後も見守り&サポートを中心に活動を続けていきたいと思っています。

ボランティアの受入側として
ほっとすべいすコアランド 吉永久美子さん

ほっとすべいすコアランドは、発達につまづきのある子どもやその兄弟、親、ボランティアさんの交流を目的とした団体です。ボランティアセンターのボランティアさんに支えて頂きながら10年以上活動を続けています。なかなか外部の方々との接触をもつ機会がなく活動の経験も限られてしまいがちです。ボランティアさんと共に過ごすことで子ども達も保護者も新しい刺激を受けて楽しい時間を過ごし、社会参加のきっかけになっています。集まるメンバーもボランティアさんも年齢層が幅広くなりましたがそれもまた前向きなスタイルになっています。こんな活動をこれからも地道に長ーく継続していきたいと思えます！



ほっとすべいすコアランドでのボランティア活動の様子

※お詫び：福祉共育シリーズ「肢体障がいの理解」は紙面の都合上、次号に掲載します。

はこんなところです



気軽に立ち寄っていただけるボラセンを目指して♪

情報
information



居場所
free space



マンガコーナーや
フリードリンクcafeもあります。



簡易なミーティングにもどうぞ。



ボランティアルーム。

● こんな事業を行っています ●

- 相談・調整
 - ・ボランティアを「したい方」と「してほしい方」の相談と調整を行います。
- ボランティア保険の加入受付
 - ・全国社会福祉協議会が保険者である「活動保険」「行事用保険」などの加入を受け付けています。「活動保険」以外の保険(行事用保険や福祉サービス総合補償、送迎サービス補償は社会福祉協議会賛助会員・団体会員もしくは、ボランティアセンターへの団体登録が必要です。)
- 講座の開催「入門講座」「養成講座」
 - ・ボランティア入門講座や各種養成講座を開催します。
- 活動用機材やミーティングルームの貸出し
 - ・ボランティア登録した個人・団体を対象に、活動に必要な機材(プロジェクターなど)やミーティングのためのお部屋(ボランティアルーム)を貸し出します。
- 福祉共育の推進(出前福祉共育講座やボランティア・福祉共育推進フォーラムの開催)
 - ・障がいや立場の違いなどを相互に理解し、「福祉のこころ」を育む福祉共育を推進します。
- 善意銀行事業
 - ・市民の皆さんの善意の寄附を受け付け、必要とする方や施設などに無償で提供します。
- 災害ボランティア活動
 - ・災害情報の提供や災害発生時のボランティア活動及び災害時の被害を軽減するための減災対策を推進します。
- 要約筆記者派遣事業(宇都宮市受託事業)
 - ・聴覚障がいのある方を対象に、文字による通訳を行う要約筆記者を派遣します。
- 対面朗読サービス
 - ・視覚障がいや高齢などにより書物などが読めない(読みにくい)方を対象に、朗読ボランティアによる対面朗読を実施します。

主に以上のような事業を行っています。詳細はお問い合わせください。

TEL 028(636)1285(総合福祉センター8階)

FAX 028(634)2870

日本赤十字社社費にご協力願います 赤十字活動は皆さまが支えています！

日本赤十字社の事業活動は、「社員」の皆さまからの「社費」と、広く皆さまから寄せられる「寄附金」、これらを総称した「社資」によって支えられています。

「社員」とは、日本赤十字社の趣旨に賛同し、活動を資金で支える会員のことで、毎年一定の資金（年額500円以上）を社費として協力して下さる個人や法人のことで。

赤十字の事業活動をご理解いただき、一人でも多くの皆さまに社員となっていただきますよう、ご協力をお願いします。

なお、この「社資」募集は強制ではございません。

※平成24年度は、45,575,679円のご協力をいただきました。ありがとうございました。



日本赤十字社の Japanese Red Cross Society

活動
紹介



栃木県竜巻災害(真岡市)で布団セットを配付する職員



ブルックス選手と学ぼう救急法

詳しくは、日本赤十字社ホームページ・回覧チラシをご覧ください。



<http://www.jrc.or.jp/>

日本赤十字社

検索

ぎんなん基金 ご協力ありがとうございました

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

平成25年4月1日～5月31日

寄附順・敬称略

	寄附者(団体)	金額(円)
4月	ことぶき会館 お客様一同	8,199
	ふれあい荘 お客様一同	502
	豊郷ダンススポーツクラブ	5,000
	かましんカルナ戸祭店 お客様一同	9,819
	宇都宮料理旅館組合	65,017
	陶匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	12,000
	スポーツ少年団正道会館カラテ	4,889
	三信電工(株)	8,620
	西川田町東武下原自治会	15,000
	築島 時三郎	2,000
5月	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	20,000
	栃木銀行泉が丘支店 お客様一同	11,670
	ステップ希望(のぞみ) 会長 石川 孝子	6,610
	城山旭市民センター教室20周年記念発表会	15,700
	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	20,000
	築島 時三郎	2,000
	ソーシャルダンス愛好会 代表 日向 トモエ	5,000
	三信電工(株)	9,050

お知らせ

“第3次地域福祉活動計画”

「誰もが、住み慣れた家庭や地域で、その人らしく、安心して自立した生活を送るための支えあい社会」の実現に向けた、第3次地域福祉活動計画を策定しました。

活動計画概要版は、地区市民センター・地域コミュニティセンター等への設置を順次すすめていきます。

“ホームページリニューアル”

宇都宮市社会福祉協議会のホームページをリニューアル！大変見やすくなりました。『宇都宮市社協』で検索してみてください(^o^)

<http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp>

“茂原健康交流センター入館者200万人達成”

5月19日(日)に入館者200万人を達成しました。(平成13年8月オープン)記念すべき200万人目の幸運なお客様は宇都宮市内にお住いの森さん親子で、岡地常務理事より花束と記念品が贈られました。



岡地常務理事より花束と記念品を贈られた森さん親子

【お詫びと訂正】

社協だより4月20日発行(148号)8ページ掲載の「ぎんなん基金～ありがとうございました～」平成24年度の寄附総額に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。ここに訂正させていただきます。

誤 4,831,345円 正 4,832,783円